



Midorioka
High School

2024

ごあいさつ

茨城県立緑岡高等学校長 今瀬 一博

緑岡高等学校は、高い知性とたくましい心をもって社会に貢献できる人材を育成するため、探究的な学びに力を入れています。本校探究活動の特徴は、多種多様な体験的・実践的な学びが、系統的にできる点にあります。

「協働」やそのための「対話」が大切になるこれからの社会では、ものごとを根拠をもって分析的に捉えて説明する力が求められますが、このような科学的思考力を含む「科学的素養」を、本校では1年生全員が身に付けます。そして2、3年生では、それぞれの希望や適性に応じた専門的な学びによって知識を深め、多面的・多角的な視点を獲得します。

また、規範意識や感性、体力等を身に付けるため、部活動や学校行事などの特別活動にも力を入れています。こうした様々な教育活動を通して、人生100年時代を前向きに生きていくための基礎を身に付け、人間としての総合力を向上させたいと考えています。

「目指す学校像」と「令和5年度重点目標」

「目指す学校像」： 文武不岐の伝統精神のもとに教育活動を推進し、高い知性とたくましい心を持ち、社会に貢献する人材を育成する。

- 「令和5年度重点目標」：
- I 生徒の主体性を引き出すカリキュラム改善と授業改善
 - II 生徒の自己実現のための進路指導の充実と進学実績の向上
 - III シティズンシップ教育の充実による自己指導力の向上
 - IV SSH事業、国際交流事業及び社会貢献活動の推進
 - V 働き方改革の実践並びに教職員の教育力の一層の向上



豊かな人間性

- ・「SP科学」「SP探究」等の探究活動による豊かな心の涵養
- ・特別活動や学校行事等の集団活動による人間関係形成能力の育成
- ・課題研究、高大連携及び国際交流事業による豊かな心と創造性の涵養

健康・体力

- ・授業や特別活動を通じた体力の向上
- ・授業や学校行事を通じた健康の保持増進

校訓

誠実 進取 協和

目指す生徒の姿

- ・「文武不岐」の伝統精神を理解して学び続けようとする生徒
- ・「進取の気象」をもって知性とたくましい心を育もうとする生徒
- ・「柔軟な発想」によって社会の発展に貢献しようとする生徒

資質・能力の育成

- ・探究的な学びによる批判的思考力及び論理的思考力の育成
- ・自ら問いを発することができる主体的な学習態度の育成
- ・キャリアパスポートの有効活用による自己評価力の育成
- ・教科横断的な視点の獲得による創造性と汎用性の育成
- ・自治的活動の促進による市民として備えるべき資質・能力の育成

学科案内

理系のエキスパートを育成する理数科、多様な進路実現を目指す普通科

理数科 (1クラス)



科学者・研究者として活躍する人材の育成

- 高度で専門的な「課題研究」の実施
- 実践的な英語のカリキュラム
- 豊富なプレゼンテーションの機会

普通科 6クラス(文系・理系)



多彩な進路の実現

- 主体的・協働的に探究を進める「SP科学・SP探究」の実施
- 一人一人の進路希望に対応したカリキュラム

希望の進路を実現させるカリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	共通	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	家庭基礎	★SS数学α			★SS物理α	★SS生物α	※	LHR																	
2年	普通科文系	論理国語	古典探究	地理総合	日本史探究 世界史探究	世界の 日本	数学II	数学B 数学C	★Science	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションII	論理・表現II	★SS化学α	★SS情報	SP探究	LHR																	
	普通科理系	論理国語	古典探究	地理総合	数学II	数学III	数学B 数学C	物理 生物	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	★SS数学β	★SS物理β	★SS化学	★SS生物β	★SS数理情報	LHR																	
3年	普通科文系	論理国語	古典探究	日本史探究 世界史探究	政治・経済	数学II	数学B 数学C	★Science	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	★SS化学β	★SS物理γ	★SS生物γ	★SS数理情報	緑高タイム	LHR																		
	普通科理系	論理国語	古典探究	地理探究	数学III	数学B 数学C	物理 生物	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	★SS数学γ	★SS化学	★SS物理γ	★SS生物γ	★SS数理情報	緑高タイム	LHR																		

※…SP科学、★…学校設定科目、*…SE課題研究

生徒会長より

3年1組 海老澤 広和 (水戸一中卒)

こんにちは、生徒会長の海老澤広和です。

みなさんは、緑岡高校と聞いてどんな印象をもたれますか？

真面目すぎる、静かすぎるなど様々なイメージを持たれるかもしれませんが、実際の緑高は何事にも本気で全力で取り組むことができる環境が整い、生徒一人一人が活発に学校生活を送っています。

また、緑高は行事がとても多く充実しています。緑高祭・クラスマッチ・緑歩会などの行事はすべて毎年開催されます。緑高生は勉強に加え学校行事も妥協することなく生徒中心で本気で楽しんでいます。

勉強を疎かにすることなく、自分の好きなこと、挑戦したいことに全力で取り組み楽しむ、そんな緑高生が静かなはずがありません、きらきらと輝いています！

みなさんと、この緑高で青春の一ページを共に刻めること、心待ちにしています。



論理的思考で主体的に探究できるサイエンスエキスパートと科学的素養を備えたサイエンスサポーターの育成

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは

文部科学省では、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラム開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援しています。

また本校は、茨城県内のSSH指定校のハブ校として、いばらきサイエンスコンソーシアムの中心となっています。

科学的素養

確かな専門性

SE課題研究

サイエンス
エキスパート

サイエンス
サポーター

SP科学

再生医療分野
サイエンスツアー
最先端科学講演会
探究基礎

SP探究

第2学年普通科で

海外研修
サイエンスイングリッシュ
英語による科学研究発表会

探究活動を1単位実施

▲本校のSSH(SAKIGAKE PROJECT II)

- ※サイエンスエキスパート：国際的に活躍できる科学系人材
- ※サイエンスサポーター：文系・理系の区別教育の要素を取り

概念図

る科学系人材なく設定した課題を主体的に探究するなどの専門入れ、将来的に科学の発展を多面的に支える人材

(令和5年度現在)

科学系部活動

科学研究部、生物部、地学部



普通科のSSH:サイエンスサポーターの育成を目指します。

SP科学

様々な科学的内容を通して、ディスカッション力、課題のを見つけ方、探究の手法・進め方等を身に付けることで“科学的素養”を培います。



▲ガイダンス



▲ピクチャーゲーム



▲数値処理の学び



▲最先端科学講演会



▲iPS細胞の観察



▲サイエンスツアー発表会

SP探究

「SP科学」の学習を踏まえ、研究課題を明確にして主体的・協働的に探究(調査研究)を行い、得られた結果を根拠に基づいて考察し、最終的に結論を導き出す活動を通して、科学的素養の育成を図ります。人文科学、社会科学、自然科学、健康科学等幅広い分野について探究活動を行います。



その他の学校設定科目

教科・科目を横断的に学習したり、学際的な内容や発展的な内容を扱ったりする学校設定科目を第1～3学年にわたって設定しています。

- 「SS数学α」「SS物理α」
- 「SS生物α」「Science」
- 「SS情報」「SS化学α・β」

理数科のSSH:サイエンスエキスパートの育成を目指します。

理数科の特徴

- “理数科”として、また“SSHの主対象”として様々な事業に取り組みます。
- “確かな専門性”や“国際性”を育成するため、学校設定教科「SSH」にSS系科目を多く開設しています。2年では、理科3科目を履修します。
「SS数学β・γ」「SS物理β・γ」「SS生物β・γ」「SS化学」
「SS数理情報」「サイエンスイングリッシュ」
- 難関理工系、医学系進学に向けたハイレベルな授業を展開しています。

SE課題研究

少人数の研究グループに分かれて、自分たちでテーマを決めて探究します。「SP科学」で培った科学的素養に基づいて、2年間に渡って研究を進めていきます。この課題研究では、大学生や大学院生によるチューター制を導入し、また理数科内で学年間交流を実施することで多面的・多角的な視点から探究に取り組み、“確かな専門性”の育成を図ります。



海外研修

海外の大学や研究機関等での研修や交流を通して異文化を理解し、科学を接点に英語によるコミュニケーション能力を高めます。また、海外の文化や先端科学技術に触れることを通じて、国際的な視野を養います。(令和5年度は、シンガポールへの渡航を予定しています)



現役
123名

国公立大学合格者

130名

北海道大学	1名	東北大学	3名
茨城大学	50名	筑波大学	5名
茨城県立医療大	11名	東京外大	2名
東京学芸大	1名	埼玉大	6名
東京都立大	4名	お茶の水女子大	1名
金沢大	1名		
医学部医学科	筑波大学、群馬大学 など		

(過年度卒含む)

現役
594名

私立大学合格者

650名

早稲田大	1名	慶応大	1名
上智大	2名	東京理科大	7名
学習院大	7名	明治大	18名
青山学院大	8名	立教大	15名
中央大	22名	法政大	20名
関西大	1名	関西学院大	2名
立命館大	2名		

(過年度卒含む)

走り続ける緑高OB



大高 龍星さん

(茨城県立中央病院 初期研修医)

平成29年に緑高を卒業し、弘前大学で6年間勉強して、春から茨城で医師としてのスタートを切りました。まだ日も浅く不慣れな点も多いですが、患者さんの人生に寄り添い、支

えることのできる喜びを噛み締めながら業務をこなしております。

また、県立中央病院には看護師、放射線技師としてご活躍されている緑高の同級生もおり、共に働けることを嬉しく思っています。高校時代の私はというとサッカーや遊びに明け暮れており、受験で闘うライバルたちには結構な差をつけられてしまっていました。しかし、緑高の先生方は私の夢を尊重し、実現のために最後まで手厚くご指導して下さいました。

緑高生でなかったら今の自分はいないと断言できます。そして緑高には、夢を叶える舞台があると確信しています。もちろん、緑高祭、緑歩会、修学旅行など楽しい行事もたくさんあり、毎日が輝かしい青春の思い出でした。

緑高は素晴らしい日々を用意してみなさんをきっと待っていますよ。



長谷川 朋輝さん

(獨協大学)

イタリア留学を決めたきっかけは広い世界を見て感じないまま大学に漠然と進学することへの不安でした。当時から僕はあらゆる分野に興味を持って

いたため高校二年生の文理選択など、進路を絞っていかねばならない状況に苦しんでいました。そこで私は改めて自分は何が好きなのか、何をきっかけに、なぜ好きなのかと自分について見詰め直す時間が欲しいと両親に打診し、留学を決意しました。

大学は外国語学部に進学し、移民問題、ジェンダーや国際関係について学びました。ただ一年目で入学前に想像していた勉強内容、環境と実際のギャップを大きく感じ、このままこのわだかまりを抱いたまま学び続けることに違和感を覚えました。アメリカ進学を考えたのはそれからです。0から自分で履修、勉強するものを選ぶ、そして「英語で」学ぶという自分に必要な要素を揃えた環境に進もうと決意しました。とてつもなく険しい道の道を進んでいますが初心を忘れず結果を出そうと思っています。

緑岡高校に進学することを決めた理由は主に二つです。一つ目は率直に自分の肌感に合っていたからです。感覚的な感想ですがこの要素は学ぶ環境を選ぶ上で必要なことだと思い尊重しました。言語化するのであれば肩肘張りすぎない、アットホームな雰囲気になれました。この雰囲気の中で県内屈指の高いレベルの教育を受けたいと思い決めました。

二つ目の理由がシンプルに家から近かったというのは、あまり声を大にせず記しておきます。



卒業生からメッセージ



群馬大学
医学部医学科

土田 小太郎
(赤塚中卒)



みなさんはこの緑岡高校でやりたいことは決まっていますか。

決まっているという人も、決まっていないという人もこれからの学校生活で意識してほしいことがあります。それは「やりきること」です。高校では中学校の時とは異なり、勉強の進むスピードが段違いです。難関大学に進みたいという人はもっと勉強する必要があります。その勉強を頑張るには仲間という存在

ももちろん大事ですが、結局最後に大事になってくるのは、自分がどれだけやり切れるかです。

同じような志を持つ人が集まり、切磋琢磨できる環境があり、勉強は大変ですが、毎年ある文化祭などいろいろな生徒との交流を深めるきっかけとなる行事などが豊富にあることも緑岡高校の魅力だと思います。

皆さんもこの緑岡高校で有意義な三年間を送ってください。応援しています。

筑波大学
医学群医学類

田上 涼太
(水戸二中卒)



緑高入学から大学合格までの勉強への取り組みについてお話しします。元々、中学生の時から勉強は嫌いな方ではなかったため緑岡高校に入学してから基本的には毎日勉強を続けていました。最初は部活もバドミントン部に所属していましたが、勉強に集中したかったため高校2年生の春に辞めました。でも部活に入ったことで友達もでき、今でもたまに遊んだりするので入って楽しんでみるのもいいと思います。それと緑岡高校での授業のことでありますが授業の内容を踏まえて自分で復習していくことで力は着実についていくと思います。全部の授業を100%受けるのは難しいと思いますが自分の学習に必要な内容を授業内で掘り出し、それをしっかり復習していくことできっと自分の行きたい大学に合格する力がつくと思います。

東北大学
工学部・建築・社会環境工学科

牧野 凜士
(内原中卒)



「文武両道」憧れますよね。学校行事、楽しみたいですね。恋愛、したいですね。安心して下さい。緑岡高校なら全部できます！

私が在学中所属していた部活は基本的に週6～7日の練習量で勉強時間よりも部活のほうが長いような日々でした。もちろん学校行事は全力で楽しんだし、部活も本気で取り組みました。3年夏までは塾にも通っていませんでした。それでも常に上を目指し、実現させていました。成功の秘訣は、「毎日コツコツ」です！1日10分でいいから、勉強しない日を作らないように心がけていました。毎日といっても10分なんて全然きつくないです。なのに、いい成績が残ります。こんな素晴らしいことは他にないでしょう。

緑岡高校には、勉強の環境も十分にそろっていて、学校行事も毎年開催されるので毎年楽しいです。

みなさんの3年間、緑岡高校に預けてみてはいかがですか？後悔はさせませんよ！

大事なのは、そう、「毎日コツコツ」。気になるあの子にもコツコツアプローチしてみよう！！

お茶の水女子大学
文教育学部・人間社会学科・教育科学コース

檜山 由莉
(那珂一中卒)



「文武両道」これは、緑岡高校の伝統精神です。勉強と部活の両立。簡単そうに見えて難しい。受験生の皆さんも十分感じているのではないのでしょうか。しかし、多くの緑高生はそれを両立させ、行事を楽しみながら高校生活を送り、目標に向かって頑張っています。それはなぜか。環境が整っているからです。親身になって話を聞いてくれる先生。目標に向かって励まし合い、高め合える友人。そんな環境があるからこそ「頑張ろう！」と自然に思えてきますよ。私もそうした環境で学べたことはとても幸せだったと改めて思います。

ぜひ、緑高でかけがえのない3年間を過ごしてみてください。応援しています！

東京外国語大学
言語文化学部言語文化学科ドイツ語

三浦 瑠依
(勝田一中卒)



緑岡高校は、まさに文武両道を体現した学校だといえます。部活動も活発に行われており、私が所属していた弓道部では、日々の稽古に励みながら、かけがえのない思い出をつくることができました。また、文化祭やその他の行事も充実しているので、クラスメイトや友達との絆を深めることができます。大学受験に関しては、1年生からコツコツ勉強することが欠かせませんが、毎週の小テストが日々の勉強をサポートしてくれます。緑岡高校の先生方はとても親身になってくださるので、学習面やそれ以外のことで困ったことがあればすぐに相談にのっていただけます。

私は、緑岡高校での3年間を通じて自分の視野が広がり、入学した時よりも具体的な将来の展望を持って希望の大学に合格することができました。

皆さんも是非、緑岡高校に入学して自分の可能性を広げてみませんか。

慶應義塾大学
文学部・人文社会学科・コース

木村 昂生
(明峰中卒)



緑岡高校では入学時から適切なカリキュラムが設定されているので、安定した勉強習慣を身につけることができます。中学卒業後の春休みを怠惰に過ごしてしまった私でも授業に出ることで即座に習慣化することができ、且つ能力も十分に高めることができました。また勉強だけでなく、部活動や学校行事も盛んです。同じ目標に向かって仲間たちと切磋琢磨できたのはとても良い経験でした。そしてその経験と仲間が居たからこそ受験勉強もやり遂げることができました。

思い返してみれば最高の学校生活でした。皆さんも是非緑岡高校に入学して、仲間たちと楽しく充実した学校生活を送って、自分の夢実現のために奮闘してみてください！

緑高生の1年

4月

- 入学式
- 体力測定

5月

- 生徒総会

6月

- 緑高祭
- 野球応援練習

7月

- 「SE 課題研究」発表会
- 夏期課外
- 野球応援

8月

- 夏期課外
- 学校説明会

9月

- クラスマッチ
- キャリア講演会

10月

- 大学模擬授業
- 創立記念日 (16日)
- 修学旅行 (2年)
- 海外研修 (2年理数科)

11月

- 国際交流事業 (11月~3月予定)

12月

- 英語による科学研究発表会
- クリスマスコンサート (吹奏楽部)

1月

- 共通テスト事前指導

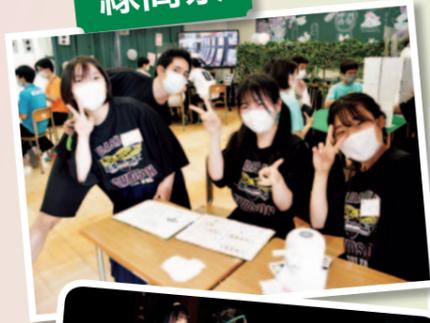
2月

- 海外短期留学 (カナダバンクーバー)
- SSH成果報告会

3月

- 卒業式予行
- 卒業式
- 合格者説明会

緑高祭



クラスマッチ



修学旅行



緑歩会



野球応援



野球応援練習



海外研修(理数科)



クリスマスコンサート

部活動

運動部

- ソフトテニス
- 水泳
- バドミントン
- 弓道
- バレーボール
- 陸上競技
- バスケットボール
- サッカー
- 硬式テニス
- 卓球
- 野球
- ハンドボール
- 剣道

文化部

- 美術
- 将棋
- 地学
- 応援団
- 軽音楽
- 写真
- JRC
- 歴史
- 映画研究
- 華道
- 英語
- 吹奏楽
- 生物
- メディア文芸
- 科学探究

全国大会

陸上競技部
U18陸上競技選手権大会(愛媛) 予選8位(35'85)(新井翔仁)
フェンシング部
令和4年度全国高校総体フェンシング競技大会
男子個人戦エペ (坂場勇斗)
男子個人戦サーブル(黒羽巧真)
女子個人戦サーブル(猿田利子)

剣道部
第50回記念魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会 男子団体
第37回魁星旗争奪全国高校女子剣道大会 女子団体

関東大会

陸上競技部
関東高等学校陸上競技選手権大会
5000mW (村井友音)
400m、200m (新井翔仁)
円盤投 (庄司怜央菜)
やり投 (田岡さほな)
関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
円盤投 (庄司怜央菜)
800m (苅部光紀)
やり投 (角鹿由翔)
3000SC (櫻井 駿)

フェンシング部
令和4年度関東高等学校フェンシング大会
女子個人戦フルレ (酒井紗綾)
男子団体戦、女子個人戦

水泳部
令和4年度関東高等学校水泳競技大会出場
女子100M平泳ぎ (横須賀 彩帆)
女子100Mバタフライ (堀 愛理)



水泳部



剣道部



野球部



サッカー部



吹奏楽部



棋道部



華道部



生物部



全国大会

棋道部
令和4年度第46回全国高校囲碁選手権大会
男子団体(谷本悠樹、二川碧斗、根本京佑)
男子個人(谷本悠樹)
女子個人(菊池唯花)
令和4年度第46回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
男子個人(谷本悠樹)
団体戦副将(二川碧斗)
令和4年度 第17回全国高等学校囲碁選抜大会
男子9路盤個人戦(谷本悠樹)
第58回全国高等学校将棋選手権大会
女子個人(菊池唯花)
第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会
女子個人(菊池唯花)

映画研究部
令和4年度NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場
テレビドラマ部門、ラジオドキュメント部門
令和4年度全国高等学校総合文化祭
ビデオメッセージ部門 制作奨励賞

関東大会

吹奏楽部
第28回関東吹奏楽コンクール高等学校B部門
銀賞 梅屋雅徳作曲『斐伊川に流るるクシナダ姫の涙』
棋道部
令和4年度 第38回関東地区高等学校囲碁選手権大会
男子9路盤個人戦 準優勝(谷本悠樹)
女子9路盤個人戦 ベスト16(中村香菜)
男子団体(谷本悠樹、二川碧斗、根本京佑)
女子団体(菊池唯花、中村香菜、村上涼花)
女子19路個人戦(菊池唯花)
第33回関東地区高等学校文化連盟将棋大会
女子個人(菊池唯花)

生物部
SATテクノロジー・ショーケース2023 ベスト・アイデア賞(小森悠太)
IBARAKIドリーム・パス 銅賞

国際交流事業

(令和4年度実施)

人間性・国際性・主体性を高め、グローバルな舞台で活躍するための幅広い知識、能力の開発、獲得を目指します。

【1学年】

- 10月 JICA筑波研修生の受け入れ
- 11月 ODA出前講座
- 12月 茨城大学生による「地域課題ワークショップ」



【海外短期留学プログラム参加者】

- 6月末 中学生プレゼンテーションフォーラム練習会ボランティア
- 12月26日、1月6日 *高大接続事業
- 1月中旬 カナダオンライン事前研修
- 2月11日~17日 カナダバンクーバー研修
 - 1日目 入国手続き後、バンクーバー市内観光へ出発。
 - 2日目 午前：英語アクティビティ(UBCパティと大学キャンパスツアー)
 - 午後：英語アクティビティ(UBCパティと博物館ツアー&特別授業(ビューティー生物多様性博物館))
 - 夕食後：「多文化共生」ワークショップ
- 3日目 午前：現地企業訪問：JALバンクーバー・JAL日本人社員 小林様の講演
- 午後：英語アクティビティ(UBCパティと環境活動プレゼンテーション)
- 夕食後：UBCパティによるUBCで行われている環境活動について紹介
- 4日目 午前：スタンレーパーク・エコツアー(1時間15分)
- 午後：英語アクティビティ(UBCパティと構内SDGsスカベンジャーハント)
- 夕食後：UBCパティと「最も印象に残った場所」について英会話タイム
- 5日目 午前：現地学校訪問(Richmond Secondary School)
- 午後：バンクーバー市内班別研修(ウォーターフロント 駅で班別行動開始)
- 6日目 出国
- 3月中旬 カナダオンライン事後研修



*高大接続事業(常磐大学)

- 第1回 富田 敬子学長 「カナダの民族多様性を歴史から紐解く～先住民と移民が築いた国」
- 第2回 北根 精美教授 「茨城で考える『多文化共生』とは？～外国人材に依存する特定産業分野と地域の課題」
- 第3回 小関 一也准教授 「カナダ社会の多様性～多文化主義とマイノリティ」
- 第4回 飯野 令子准教授 「外国人の視点から見た茨城・水戸～言葉の壁から『多文化共生』の課題を考える」

**事前事後研修(現地とのオンライン研修)

- ①British Columbia University学生パティとの意見交換「カナダと日本の環境問題について」
- ②British Columbia University学生パティとの対話「この研修で学んだこと」

参加生徒の感想

○全てにおいて非常に有意義な時間を過ごせた。

○最終日現地の高校に行って年齢の近い高校生と話したのはすごく嬉しかった。私達が英語、相手が日本語を話している空間も味わえないと思うのですごく新鮮だった。

○プレゼンテーションでは、自分たちの紹介だけでなくパティ達のプレゼンも聞くことができ、現地の取り組みを知るとともに英語でのプレゼンのお手本としても勉強になった。

○博物館のツアーの際、与えられた資料から問題点や課題を見だし、グループで意見交換をした場面。毎夕食後の、パティとのディスカッションタイムが楽しかった。

○時間をすごく有意義に過ごせてどの体験も初めてで楽しかった。UBC(University of British Columbia)で色々な人と交流できたのが良かった。



茨城県立緑岡高等学校

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1284

TEL.029-241-0311

FAX.029-241-7929

URL <https://www.midorioka-h.ibk.ed.jp>

